

学級指導における「性教育」指導計画と実践例

足利市立第一中学校 南 木 紀

1. 教育計画における性教育の位置づけ

教育目標達成のための努力目標として、「性教育についての研究をさらに深め、望ましい発達への適応を図る」とし、さらに努力点、具体策として次の3つがあげられている。

- (1) 指導計画をさらに検討し、ねらい・内容・他教科の関連を明らかにし、指導の充実を図る。
- (2) スライドや資料を効果的に利用して指導法を継続研究していく。
- (3) 性教育についての職員間の共通理解をより深め、また、家庭への啓蒙を図っていく。

これを年度ごとに評価し改善をはかっている。

2 性教育の目標

(1) 総括目標

- ア 人間の生命現象を、性という観点から、科学的に正しく理解させながら、人の命の尊さを学ばせる。
- イ 健康な男女の心とからだの発達と働きを、正しく理解させる。
- ウ 男女が互いに尊重し合い、いたわりあい、協力しあって、明るい家庭や社会をつくっていく態度を育てていく。
- エ 社会にはんらんする、性情報の正否を判断できる能力を身につけさせる。
- オ 性の欲望に対して、自己コントロールできる強い意志を育てていく。

(2) 各学年の目標

ア 第1学年

男女のからだの特性理解、相手の立場を理解した上での思いやりや協力的性、性的事故の防止のための健全な精神を育てる。

イ 第2学年

身体的、精神的变化の理解や、男女の役割を深め、健全な異性観を身につけさせ、望ましい交際のあり方を知り、それを守ろうとする態度を育てる。

ウ 第3学年

3ヶ年の性教育のまとめの時期とし、結婚観などについても扱い、異性間の健全なモラルを身につけ、幸福な家庭や社会を形成するものとしての純潔を保とうとする態度を育てる。

3. 学級指導における性教育の位置づけ——年間指導計画の中から

学年	月	学級会	個人	集団	学業	図書	進路	安全	性教育	備考
一 年	4	○	○	○						○
	5	○		○		○		○		
	6	○			○	○			○ からだの発達	
	7	○			○					○
	9	○	○		○		○			○
	10	○		○				○		
	11				○	○	○			
	12	○					○		○ 心の変化	○
	1	○	○				○			○
	2					○	○			
	3	○		○			○			○
	時間	11	3	4	4	4	6	2	②	計 35
二 年	4	○	○			○				○
	5	○					○	○	○ 中学生の悩み	
	6	○		○			○			
	7	○			○					○
	9	○		○	○		○			○
	10	○				○		○		
	11				○		○			
	12	○	○				○		○ 性被害の防止	○
	1	○	○				○			
	2				○		○			○
	3	○		○			○			○
	時間	11	3	3	4	2	8	22	②	計 35
三 年	4	○	○		○					○
	5	○		○			○			
	6	○			○		○			
	7	○							○ 人間の性	○
	9	○		○		○	○			○
	10	○					○			
	11				○		○	○		
	12	○					○			○
	1	○			○		○			○
	2		○						○ 幸福な結婚	
	3	○	○	○						
	時間	13	3	3	4	1	8	1	②	計 35

4. 事前調査と感想のとりかた。 ……………これらは生徒の積極参加につながる

学年	題 材	内 容	事前調査・アンケート・感想・その他
一 年	からだの発達	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女のからだの特徴 ○ 男女のからだの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年と3年の身長・体重・胸囲を健康診断票をもとに調査し、学年の比較からわかることを発表できるようにしておく。 ○ 男女のからだの特徴を調べる（筋肉、骨格、体力、頑強、スポーツテスト）
	心の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異性への関心と反発 ○ 男女の感情と考え方のちがひ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート……男子から女子へ、女子から男子へというテーマで、男子への願い、女子への願いについてまとめさせる。
二 年	性被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男子・女子の生理 ○ 異性からの誘惑 ○ 性犯罪の実態 ○ 性被害の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精通現象の有無、初潮の有無についての調査をまとめておく。 ○ 性に関する連想語調査……性知識の実態調査 ○ 異性からの誘惑の例、あるいは見た聞いた例 ○ 性被害を受けそうになったとき、どうすればよいか。
	中学生の悩み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精通・射精・夢精 ○ 自 慰 ○ 性衝動・月経時の状態 ○ 男女交際のエチケット 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自慰についての調査 ○ 性についての悩みの調査
三	人間の性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間と動物の悩の違い ○ 性の衝動 ○ 性欲とそのコントロール ○ 人間の性と愛情 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男子が性的刺激を受けるときはどんなときか。 ○ 性欲の高まりが起きたとき、どのようにすればよいか。

年	幸福な結婚	<input type="radio"/> 性の力、恋愛の目的意義 <input type="radio"/> 恋愛学習時代の意味 <input type="radio"/> 幸福な結婚の条件	<input type="radio"/> アンケート、集録P51の調査 <input type="radio"/> 愛について <input type="radio"/> 結婚の条件について、アンケート調査
---	-------	--	--

5. 授業実践例

性教育指導案

5 3. 1 1. 2 8.

3年1組 指導者 南 木 紀

1. 題材 人間の性
2. 題材設定の理由

「人間の性」は、すばらしい生命の創造や、豊かな社会・家庭・文化を築くたくましい働きをもっている反面、もし考えを誤ると、たいへん危険な状態に陥ることになる。

最近の傾向として、「性」についての考え方は、従来の隠すもの恥かしいものといった考え方から、美しいもの、楽しいもの、明るいものといった考え方になってきている。しかし、「性の娯楽性」のみ強くなり、映画や週刊誌などによる俗悪な情報も氾濫し、口こみ、耳こみを通して子どもたちに刺激を送りこんでいる。このような環境にあって、子どもたちに、自分の置かれている立場をよく認識させ、人間の性についてあらためて考えさせる必要があるのではないかと考え、この題材を設定したしだいである。

3. ねらい

- (1) 人間の性は、人間尊重の考えに立って、相手を認めることから出発し、男女の正しい人間関係を育てていくために大切なものであることを理解させる。
- (2) 性の衝動とその合理的なコントロールについて考えさせる。

4. 指導上の留意事項

- (1) 科学的な理論をもとに展開する。
- (2) 問題意識の設定をする——「前頭葉で解決する方法」
- (3) 男子を中心に話し合いを展開する
- (4) 人間の性と愛という形でしめくくる。このさい、相手の立場や悩みをのり越える性について考えさせる。

5. 展 開

指導内容	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料
<p>○人間と動物のちがい</p> <p>脳のはたらき</p>	<p>○ 人間と動物のちがいについて考える</p> <p>○ 人間として行動させるもの(よりよく生きる)は、脳のしくみにあること、また、高等な動物ほど、その重量があることを知る</p> <p>○ 人間の脳と動物の脳との違いについて話しを聞く。</p> <p>1. 新しい脳 (新皮質)</p> <p>2. 古い脳 (古皮質)</p> <p>3. 新しい脳によるコントロール、特に、前頭葉のはたらき</p>	<p>○ 脳のちがいについて気づかせる</p> <p>○ 脳の重さ、大きさなどの資料を用意する。</p> <p>○ 知識を形成するのは、脳の重量ではなく、神経細胞の配線によるものである、人の努力を強調する。</p> <p>○ 新皮質、古皮質を中心に脳のしくみを説明し、前頭葉が動物とちがう点を強調する。さらに、この新皮質が、いろいろな欲求のコントロールをすることも押さえておく。</p>	<p>○スライド</p> <p>○スライド</p> <p>○OHP</p> <p>○動物の脳の重さの表</p> <p>○スライド</p> <p>「今日は13才」、p. 14.1 5.</p>
<p>性の衝動</p>	<p>○ ノードやエロチックな写真を見て、どう感じるか。グループで話し合う。</p> <p>1. 男子生徒の感じ方</p> <p>2. 女子生徒の感じ方</p> <p>○ 性衝動は、古い脳の働きによることを知る。</p>	<p>○ 男と女により、衝動のおこり方刺激に対する感じ方が違うことを女子の生徒に強くアピールする。</p>	<p>ノード写真 2枚</p>
<p>この性衝動(悩み、苦しみ)を前頭葉で解決できないものなのか。</p>			
<p>欲求とその衝動のコントロール</p>	<p>○ 男子用アンケート「男子が刺激を受けるときはどんなときか。」から話し合いをする。</p> <p>(男) 性衝動の高まりが</p>	<p>○ 内容を男女別に分けて、焦点ボケのないようにテーマをきめておく。</p> <p>○ 自慰や昇華のことについて改め</p>	<p>OHP</p> <p>アンケートのまとめ。</p>

	<p>起きたときはどう対処するか。</p> <p>(女) 男子のこのような強い衝動をどう思うか。また女子としてあるべき態度はどうなるか。</p>	<p>て考えさせる。</p> <p>○ 男女理解の方向づけ</p> <p>○ 性被害の防止</p> <p>性的な行動にでる前に、それが自分や相手にとってどういう意味を持つか考える(ブレーキ)を強調する。</p>	
男女の正しい人間関係	○ 性をふまえた、人間の愛とは何かを考えてみる。	○ 男女の正しい人間関係は、相手の気持ちを考えたものでなくてはならない。さらに愛とは曾野綾子の「誰のために愛するのか」より、愛することは、その人のために死ぬことである。と知らせ、他人を愛することは決して簡単ではないことを深く印象づける。	録音テープ 「人間の性と愛」 曾野綾子の「誰のために愛するか」
まとめ 人間と愛情	○ 人間と愛情について「いろいろな悩み、苦しみをのりこえて、みんなで愛を育てる実感を。」	○ OHP投写で、教師のまとめをする	OHP
		前頭葉で、よりよく生きる男女の正しいあるべき姿を浮き彫りにする。	

○ 配慮事項

1. 全体の流れは、OHP投写で統一した。
2. ヌード写真は、なるべく等身大のもの、しかも、きれいな写真とどきついもの2つを用意
3. アンケート等は、前年あるいはそれ以前のものも用い、比較できるようにしてある。

6. 授業記録 「人間の性」

T 今から「人間の性」というテーマで性教育の授業を行います。

はじめに、人間と動物のちがいについて考えてみよう、いろいろあるけど、今日のポイントを「脳」にしぼり考えよう。

◎ 大脳のスライド「理科用のもの」投写

この大脳の中でとくに人間らしく生きる部分は、すでに理科でもやったが、表面にあたる皮

質の部分の中であることは知ってるね。それでは重さや大きさの比較をしてみよう。

◎ 動物の脳の重さ—OHP

動物の脳の重さ	
ネズミ	1.5g
ウサギ	10g
ネコ	30g
サル	90g
ゴリラ	450g
人間	1250~1400g

T これらからわかるように、人間がとびぬけて脳が重いね。同じ動物でもここに注目して、性についての問題を考えてみることにしよう。

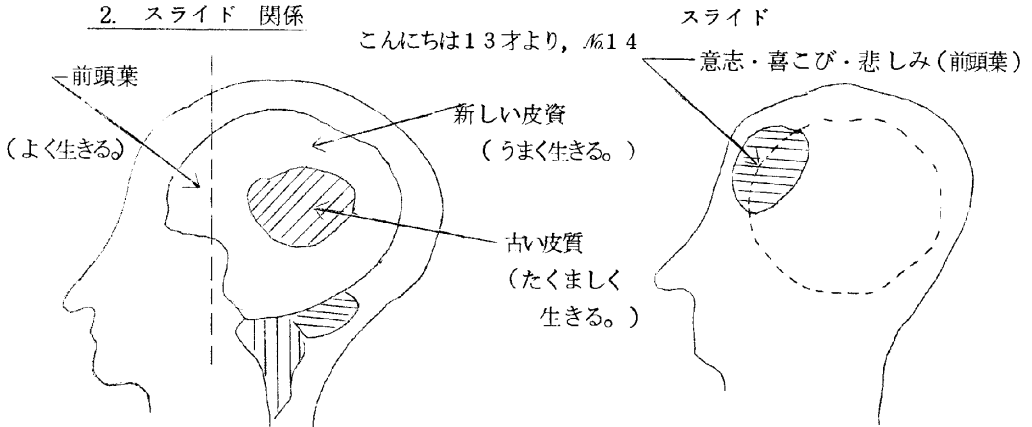
しかし、ほんとうは脳の重量よりもっと重要なことが脳の世界にはあることを、やはり理科学習の中で知らせてあるのだが、気がついたかな。……ではね。人間の脳の神経細胞はどれくらいあるか知っているかい。

S 1億ぐらいかな

T じつは50億もあるんだよ。これは生まれながら、全員平等、問題はその数よりその細胞どうしの、からみ合い、(配線)により、知能や判断の形成がなされていくのだ。つまり経験だね。では 脳のしくみについて、もっとくわしく調べてみよう。

◎ スライド投写—こんにちは13才より №14, 15.

2. スライド 関係



こんにちは13才より, №15

T この図をみてもわかるとおり、脳の断面から中心部には本能で生きる部分の古い皮質がありこれは動物と何らかわりませんが、これはたくましく生きるところとも言えます。もう1つその外に、新しい皮質がある。さっきも言ったように理科でも学習しています。この新しい皮質

でも、おでこの部分が「前頭葉」とよばれるところです。ここは、さっきのたくましく生きる
に対して、より良く生きる場所です。

◎ OHP — 前頭葉のまとめ

人間の脳の神経細胞どうしの、からみ
あい（配線）が、よろこび、悲しみ、笑
い、なげき、を覚える。
これが、動物とのちがいである。

T この前頭葉で、こんな立派なものがあるのだから、性についての悩みを、これからみんなで
考えてみよう。

◎ ステッカーの張り出し——共通問題意識の設定

T 次にみんなに、みせたいものがあるのです。これを見てどう思うかな。

◎ スライド——今日は13才より、ヌード場面

◎ ヌード写真（パネル——等身大のもの）2つ

T スライドの方は映画のカン板ですね。よくあるやつです。

S ニヤニヤ

T こういうのをみて、どう思うか。今からグループを男女別にして、この写真について、どう
思うか話し合ってみよう。

△ 話し合いの時間——2～3分

T Y君どうですか。正直に言って。

S1 正直にね——……きれいだと思います。（ひやかしの声）

T ほかに……男子の方から……ハイ

S2 Y君と同じできれいだと思います。

T ほかに、ハイ H君

S3 見あきた。……（全員、笑い）

S4 写真じゃなくて、ナマで見たい。

T なるほどね……A君は？

S5 みんなと同じようです。そんなのあったらいいと思います。

S6 いいなあ、正直行って持ち帰りたい。

T ときどき、成人向き映画のポスターなくなるというからね。

S7 まだ序の口だと思います。もっとすごいのがたくさんある。

T 序の口ね、たしかにきれいなものね。では、M君 博士のひとつ

S8 いいと思う。

T それだけ？ じゃあ注目の人 U君

S9 いいと思う。

T ハイ G君は

S10 疑問があるのですが、どうして、アメリカみたいにオープンに写さないのですか。

T むずかしくなってきたな、これはあくまで写す人の意図があるので…ねらいもあるし…
それよりお前の気持ちを聞いているのだ。ずるいぞ

S11 やっぱり みたい ほんものを

T このへんで、女性にうつろう。Sさんどうですか（パネルをさして）

S12 そんなことまでして、はだかになりたいのかな。こんなものみてもつまらない。

T なるほど そう感じるのかい Hさんは

S13 片方は美しいが もう1つの方はいやらしい。

T その班、Aさんは、

S14 その写真について、いろいろいわれたり、想像したりするといやらしい

S15 右の方はきれいだが……やっぱりいやらしい。

T あとひとつ、女子にきくよ、この写真は同性だものね。だからこれについて聞かれても、困
ると思うんだ。だから異性にきり変えるよ。男性の…有名人のヌード写真をみせつけられたら
どう思う。

S16 なんとも感じない

S17 有名人じゃなくて、自分の好きな人なら、いいと思うのですが、でなければ別に……。

T じゃあ、やさ男じゃなくて、ムキムキマンみたいな男の裸写真だったらどうか。

S18 テレビの画面や、写真だから別になんともない。

T だいたいまとまってきたが、いちばんはじめに、Sさんがこんなものみせて、いやらしいと
いった内容のきびしい評をしていたが、これだけ男と女はちがうのです。女性側はいやらしい
男性側は、写真なんかつまんない、実物をみたいといっている。同じ人間どうして、ここまで
ちがう。……このちがいをよく頭の中におさめておいて下さいよ。

そしてね、刺激のうけ方がちがうのだからしかたがないで、かたずけてしまっはいかんと
思う。神様はお前たちに、その解決方法をちゃんとさずけてくれるはずだ。もっと深く考えて
みよう。

◎ もういちどスライド版1 4.1 5.（前頭葉）

もういちど、このスライドみて、前頭葉だね。これを中心に考えていこう。ここには、良く
生きる、と書いてあるね、これですよ、いいね。

T 君たちに、以前、「性的刺激を受けるときはどんなときか」、についてアンケートをとって
おいたのをまとめておいたから、今から、そのプリントをくばります。よくよんで。

◎ プリント配布——クラス（3の1）のまとめたもの

◎ OHPでまとめたものは4年前の生徒のもの

男が性的刺激を受けるときはどんなときか

OHP	テレビ	ヌード写真
№3	エロ本	映画の看板
	ビキニ着の女	スカートの中がチラリ
	深夜のラジオ	週刊誌
	セーラー服	女の胸がチラリ
	エロ話	ロックジャズ
	女性のうなじ	背中

T 4年前の先輩のアンケート結果です。これを見ると、テレビが一番多かったのだね。今年は女性のヌードが一番だ、それだけ、そのような写真が多く出まわっているのかな。なかには、たまりすぎ、なんて書いている人もいたね。注目だね。それに4年前は女性が刺激を受ける例はゼロだったのに、今年はありました。いやらしいエロ本をみたとき、多少なりとも刺激をうける。あるいは映画、雑誌のいやらしい場面などでも……。このように性的刺激を受けるのは、100%男性じゃないのだとね。H君はアンケートの結果からいくと、どれに入る、
S19 やっぱり、女の裸のことを考えると……。それに、そうじ中の、女のスカートの中から足がチラチラしているときなども

T なるほど、だから、となりの3の2のクラスは、掃除中は、タイツをはいてやってるね。

◎ スライド——自慰について、今日は13才より

T この図は、ガマンができなくなり、はれつしてしまうところだね。前日もみせたねこれ、お前たちのアンケート「自慰の回数について」では、夢精はいなくて、全員が、オナニーをしている。一週間に7回なんてのもある。このように性的刺激と自慰は大きい関係にあるのがわかる。世の男性はみんな自慰をしているわけだね。とくに中2・中3ではひどいね。そして世の中は刺激だらけ……。だから、この問題を考えなければならないね。

前回の復習なんだけど、たまってしまったとき、どうすれば良い方へ転化できるんだっけ。

I君どうだい

S20 スポーツなどに熱中することです。

T そうだな、でもなかなか前頭葉のコントロールでうまくおさえる人は少いから、誘惑に負けて、どんどん回数が増えてしまう。このあいだの「性の悩み」について、ある男性から、どうしても、がまんできなくて回数がふえてしまうと書いてあったよ。

それから、みのがしてならないのは、女性の方にも「生理」というのがあるね。両方とも、体外に放出しなければならない生理現象がある。つまり男も女も、お互いに同じような現象があるのだから、もっと前向きに考えようではないか。

T 次に、君たちの感想を読ましてもらうよ、女の子から

◦ 今まで男子に対して、きたないかと思っていたが、自然現象だからしかたがないと思うようになった。

◦ いやらしいかと思っていたが、生理現象なのでしかたがないと思った。男子のそういう面を理

解しなくてはいけないんだなと思った。

- 男子も女子のからだを少しでも理解してほしい。
- 男子の心理が大変よくわかった。相手の男が、ひどくやつ当たりしたり、おこったりしたことがあったが、これも考えてやるべきなのかなーと思った。
- 今まで女性が男性に誘われるのは、男性の方が一方的に悪いのだと思ったが、女性の悪いところもあるのだということがわかりました。
- 教室でひやかされたり、電車の中でさわられたりするのには、男性側にも問題はありますが、女性（自分）がどういう行動や服装をしていたのかを、ふり返ってみる必要がある。

T ここで録音テープを聞いてみよう

◎ 録音テープ——「人間の性と愛について」

—— 生徒作文より —— S, 49年度 ——

人間の性と愛というものは、本来両立すべきものであると思う。しかし、この世の中において、それは、とてもむずかしいことであり、重要な問題であると思う。

そして、ともすると人間は、特に男は、「性と愛」の「性」だけを求めようとする。それは、一般にいう、女郎屋、トルコ……といった商売があることや、青少年の性犯罪あるいは、中年の痴漢といったようなことで説明できる。

また、「愛だけ」を求めようとすることもある。特にそれは、女、なかでもローティーンに多いと思われる。よく聞く話しであるが、中学生、高校生くらいの年頃の異性同志で、いい仲になってくると、男は無理やりにでも「愛」をすてて、女に「性」を求めようとする。しかし、女は「愛」だけ、純粋な「愛」だけを求める。そして二人はそれっきりなんて場合が多い。

しかし、僕が思うに、「性」だけ、「愛」だけを求めるというのは、人間本来の「人間性」という点から考えると、おかしいと思う。それは、異常だと思う。人間の性と愛は、もともと両立すべきものである。

前にも述べたとおり、現実では、それは非常に困難なことであり、単なる理想となってしまうのではないだろうか。よくこどものことを「愛の結晶」だなんていう。しかし本当に愛し合い、求めあってできた子どもならそう呼べるかもしれないが、ただ快感を得るために、性欲を発散させるために性交してできた子どもを、なんで「愛の結晶」などと呼べるのだ。この地球上の男と女には、必ず決められた相手がいるという。そして、その相手にめぐり逢えたとき、その二人は、最もすばらしいカップルだという。僕は、その相手に逢えた人が、はじめて性と愛の両立を成しとげられるのだと思う。

というわけです。

T もうひとつ、この本を読んだことがありますか。

◎ 「誰のために愛するのか」——曾野綾子

T この中で曾野綾子は、こういつている

◎ OHP №4

愛するということは、
その人のために、死ぬことである。

T ちょっとキザかも知れないが、男性が女性に対して“愛してる”と言うことは、その意味が非常に大きいのだ。“死”ということまで考えてのことなら。

T また、前頭葉のことになるが、せっかくこのような良いものを残してくれたのだから……。人間は下半身の方はだらしなくできてるが、脳の中の新皮質にその反対のものをつくってくれた。さっきも、「死ぬ」ということが出ていたが、それというのも、それなりに「性」というものを考え、悩んで、新皮質でなんとかしようとしているしつものあらわれと思う。

悩みの解決ということで、まとめてみたいと思う。

世の中、いやいやだらけ、苦しいことだらけですね。一斉テストに、宿題、朝そうじ、などやらねばならないことが多い、つらいことばかりだ、でもそれをやっている。つらいけどやらなければならないことは知っている。また、女の子のスカートまくりを中3の生徒がやったらそれこそ大変だ、やれないね、前頭葉がちゃんと配線しているからできない。それをもう少しつきつめて考えてみると、とくに男子の性への誘惑などは、もっともっと前頭葉をはたらかせるべきだと思う。これは、これだけの問題ではないと思う。勉強のことも、仕事のことも、遊びのことも、ルールがあると思う。それを1つ1つ守ってきて、最後に脳細胞が配線をしてくれるから、ものすごく大変な困難や苦しさ直面したときに、それらがつもり積って、いざというときに、ブレーキがかけられる判断が、前頭葉から出るのだと思う。この人間の性の問題についても、真正面から配線にとり組んでもらいたいと思う。

最後にこれらのことについてOHPでまとめてみると

◎ OHP №5

男子には、激しい性の衝動があり自慰もある。

女子には、月経（メンス）もある。あたりまえです。人間ならば、性のいやらしさ、はずかしさを乗りこえよう。

幸い人間は、よりよく生きる前頭葉があるじゃないか。いろんな悩みをのり越えて、正しい男女の人間関係を、みんなで育てよう。

T これで見られるように、男と女は性に関しては、さけて通れないものがある。さけられないのなら、前頭葉でしっかり組みとめて考えてみよう。そして“のり越えよう”

そのように「人間の性」を考えていこうではないか。先生もこの問題について、にげないで授業をやったのだから、みんなも「性」についてにげないでほしい。……。

T 次回は「愛」というテーマで、結婚の問題について考えよう。

評

昭和48年教育研究所から性教育指導資料が配布されてから5年が経過しましたが、学校における性教育への取り組みはなかなか進んでいないようです。その中であって、第一中学校は先生が中心になり、特に学級指導における性教育のあり方を継続的に研究され、生徒の発達段階に応じた指導計画が作られ、実践されていることに敬意を表します。この実践記録は中学生を指導するうえで特にむずかしいとされている人間の性に真正面から取り組み、ともすると興味本位に流されがちな内容を、周到な指導過程と豊かな教材研究により精神的な愛にまで高めたところに意義があると思います。

性教育のむずかしさは、児童・生徒の実態を完全には握したうえで臨まない、とんでもない方向に流されてしまうところにあると思います。したがって、この内容がどこの学校でも通用するとはかぎりませんが、なににもまして大切なことは、本校のような継続的、発展的な指導が必要ではないでしょうか。

今後、ますます研究が推進されることを望んでおります。